

公益社団法人 松戸青年会議所 地域創生委員会

委員長:古川 隆太

| | |
|------------|---|
| 委員会設置背景 | 松戸市は都心からのアクセスが良く、子育てする環境も良い街として認知されており、人口増加の地域となっております。しかし、その内訳を見ると松戸市に魅力を感じて引っ越してくる転入数が多い一方で、出生数、死亡数を勘案しても近隣の市よりも転出数が多く、永く住み続けてもらえないという課題を抱えています。多くの市民に永く住み続けたいと感じてもらうためには、松戸市の数ある魅力に気づいていただくとともに、今まで見い出せなかった誇りや愛着を感じてもらう必要があります。 |
| 委員会目的 | 多くの魅力を持つ住みたい街ランキング上位の松戸市において、市民が今まで気づけなかった街の魅力を顕著化し、市民と創り上げる魅力を感じる機会を増やすべく、魅力が多くの市民に伝わり、地域に対しての誇りと深い愛着を持ち、住みたい街から住み続けたい街にすることを目的とします。 |
| 活動概要 | <ul style="list-style-type: none"> 【共1】常に新しいことへの取組を意識し、個々の成長を遂げる 【共2】日本青年会議所、関東地区協議会、千葉ブロック協議会が主催する事業への積極的な参加 【共3】総会・例会・地域行事・対外事業等への積極的な参加 【共4】新年祝賀会の開催 【共5】他委員会との連携と協力 【共6】会員拡大 【共7】例会や懇親会等でのオブザーバー対応 【共8】新入会員入会後の歓迎ムードの醸成及び積極的なコミュニケーション 1.地域に誇りと愛着が持てる事業の開催 2.市民を巻き込んだ、心に残るインパクトを与える事業の開催 |
| 運動計画 (KPI) | 1.地域に誇りと愛着が持てる事業の開催 KPI:参加者の90%以上が「街に対して愛着を感じた」と実感します。 2.市民を巻き込んだ、心に残るインパクトを与える事業の開催 KPI:参加者の90%以上が「来年も松戸青年会議所の事業に参加したい」と実感します。 |
| 運動手法 | 1.松戸市に住み続けたいと感じてもらうために、地域の魅力を探し出せる事業を開催し、松戸市に住まう人々が魅力を再認識することで、地域への誇りと愛着を深めます。 2.松戸市に住み続けたいと感じる魅力を創るために、市民が一体となって参加可能なインパクトのある事業を開催し、思い出として永く心に残ることで、地域へ誇りと愛着を醸成する一助とします。 |
| SDGs | 【8,11,17】 |
| パートナー | 公益社団法人日本青年会議所(事業等における実施支援) 公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会(事業等における実施支援) 公益社団法人日本青年会議所関東地区千葉ブロック協議会(事業等における実施支援) 公益社団法人松戸青年会議所OB会員(事業等における実施支援) 松戸青年会議所OB会(動員による実施支援) 松戸商工会議所(事業等における実施支援) 松戸市役所(後援による実施支援) 一般社団法人松戸市観光協会(後援による実施支援) 松戸市 街づくり部 公園緑地課(会場使用による実施支援) 松戸市 経済振興部 商工振興課(後援による実施支援) 松戸市民劇場(事業等における実施支援) 勤労会館(事業等における実施支援) セイジツサービス株式会社(事業等における実施支援) 株式会社ベイエフエム(後援または広報支援) 千葉テレビ(後援または広報支援) 株式会社ジェイコム千葉(事業等における広報支援) 株式会社ADプランニング(事業等における実施支援) LINE株式会社(LINEによる実施支援) Meta Platforms, Inc.(SNSでの事業広報活動による実施支援及び成果発信) まるごみ松戸(事業等における実施支援) きたまつどごみゼロくらぶ(事業等における実施支援) 松戸市経済振興部にぎわい創造課(事業等における実施支援) |
| 対外事業 | 1.京都会議 2.ASPAC・アンコール大会 |
| 地域行事 | 1.松戸花火大会 |

※事業概要の【共】はJCI松戸全メンバー共通の年間事業方針を記載